

問い合わせ先

海洋情報部 監理課

監理課長 米 須 清

専門官 鮫島真吾

TEL099-250-9800(内線 2511)

平成 18 年 12 月 25 日

第十管区海上保安本部

## 管内の環境脆弱性指標（ E S I ）調査終了！

第十管区海上保安本部では、海洋における油の流出事故に備えて、「沿岸海域環境保全情報」を整備しています。この情報の充実を図るため、平成 14 年度から 5 カ年計画で環境脆弱性指標（ E S I ）調査を実施してきましたが、今年 11 月、終了しました。

### 1 沿岸海域環境保全情報とは？

- (1) 大規模な油流出事故等が発生した場合、的確な油防除対応を取るために必要な沿岸域の様々な情報（地理情報、自然情報、社会情報、防災情報など）のことです。
- (2) 海上保安庁が保有する情報に加え、関係省庁・地方公共団体等の協力を得て収集し、データベースとして管理しています。また、これらの情報を地理情報システム(GIS)を利用して、沿岸域環境情報サービス(通称：Ceis-Net：シーズネット)として、インターネットを通じて提供しています。

### 2 環境脆弱性指標（ E S I ）とは？

- (1) Environmental Sensitivity Index の略で、米国 NOAA（海洋大気庁）が、油防除作業のために海岸線を各性状（開放性・閉鎖性、岩場・砂浜、干潟、植生など）により分類し、沿岸部に流出油が漂着した場合の影響程度（生物の感受性、自然浄化能力及び除去困難性）を、ランク分け（指標化）したものです。
- (2) 海上保安庁では、NOAA の分類方法に準拠し、大きく 10 段階に分け、いくつかの ESI 数値を、日本の海岸線に適合するよう細分化しています。また、各図は一見して判別できるように、海岸線を ESI 数値の分類に応じて色分けして表示しています。

### 3 E S I 調査の概要

E S I 調査は、海岸線の性状を把握するため、直接、現地に赴いて、各沿岸の性状を記録し、写真に収めるとともに、付近の関連情報の収集に努めるものです。十管区では、平成 14 年度に宮崎県北部沿岸から調査が始まり、以下の計画をすべて完了しました。現在、E S I 情報については、平成 14 年度、15 年度分調査の情報を Ceis-Net(シーズネット)で閲覧できます。

平成 14 年度 宮崎県全沿岸、鹿児島県志布志沿岸～佐多岬

平成 15 年度 鹿児島湾(佐多岬～長崎鼻)、種子島・屋久島、トカラ群島

平成 16 年度 長崎鼻～加世田～出水・長島、熊本県荒尾～水俣

平成 17 年度 奄美大島及び周辺の奄美群島

平成 18 年度 甌島列島及び天草諸島

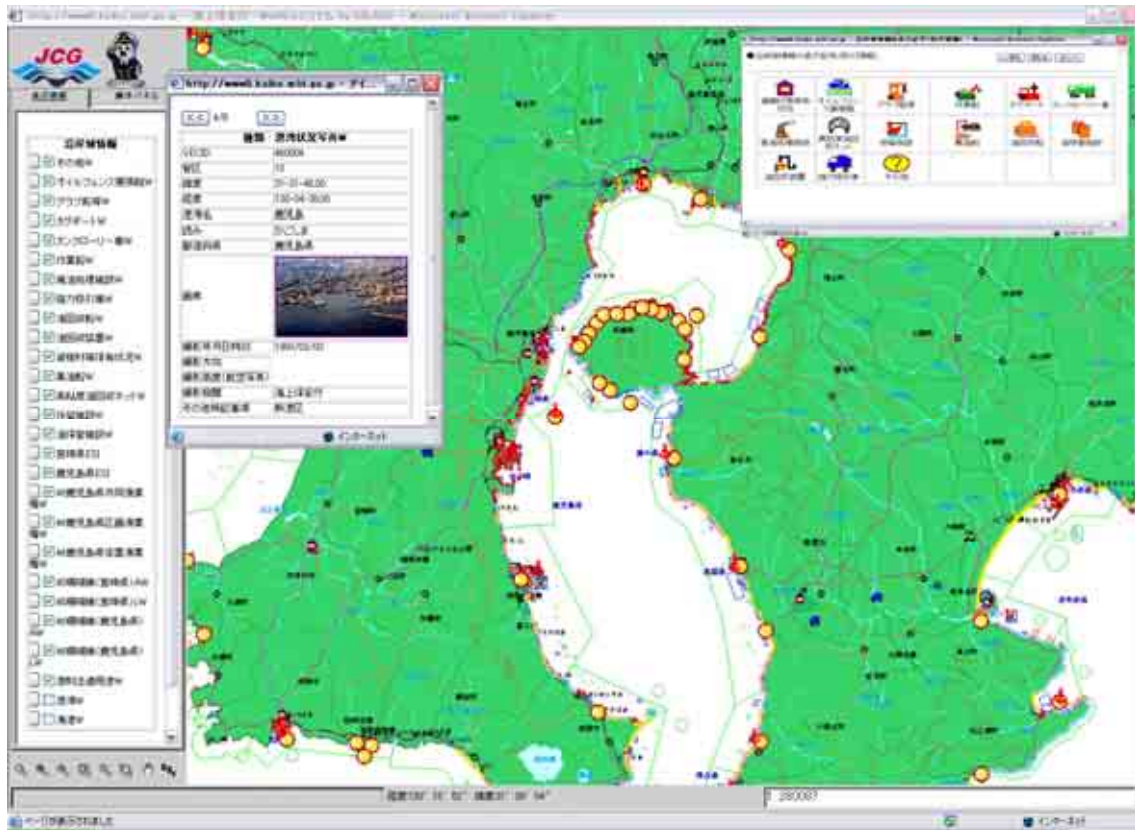
### 4 E S I マップの整備

現在、インターネットが接続できない環境下でも、迅速に対応できることを目的として、「沿岸海域環境保全情報」を、E S I マップとして海域毎に細かく P D F 化する作業に着手し、完成したマップについては、今後、各防災機関等へ提供するなど、流出油防除対応に備えることとしております。

沿岸海域環境保全情報は、以下の海上保安庁海洋情報部ホームページ内の「沿岸海域環境保全情報」から公開しています。

URL> <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/>

## Ceis-Net による沿岸海域環境保全情報の表示例



### 環境脆弱性指標(ESI)の凡例

分類	ESI数値	線色	海岸線の種類
1	1A	———	開放性海域岩海岸
	1B	- - - - -	開放性海域人工構造物
2	2	———	開放性海域波食性台状地
	3A	———	細粒から中粒の砂浜
3	3B	- - - - -	砂の急斜面
	4	———	粗い粒の砂浜
5	5	———	砂礫混合浜
	6A	———	礫浜
6	6B	- - - - -	捨て石状海岸
	7	———	開放性海域干出平坦地
8	8A	———	遮蔽性海域の磯と急斜面
	8B	- - - - -	遮蔽性海域人工構造物
9	9A	———	遮蔽性海域干出平坦地
	9B	- - - - -	植生土手
10	10A	———	塩水性及び半塩水性草性湿地
	10B	- - - - -	淡水性草性湿地
	10C	———	淡水性草木性湿地
	10D	- - - - -	低木性湿地

ESI マップの一例(鹿児島-38：喜入石油備蓄基地及び周辺)

